



いつも、
この街の
そばに





きょうもこの街に朝がくる。

私たちはこの街で、
薬剤師という立場で患者さんと向き合い、
チーム医療に携わっている。

この場所での毎日が、
患者さんの笑顔をつくり、
私たちの世界も広げてくれる。

この街で暮らす、すべての命に寄り添う仕事。

いつも、この街のそばにいる。





Point 01

高度なスキルを 幅広い領域で身につけられる環境

熊谷総合病院 薬剤科は、調剤・製剤・抗がん剤調製・無菌調剤に加え、PET-CT検査やDI、病棟薬剤管理指導業務にも従事しています。また、がん専門薬剤師、NST専門療法士など、資格取得の支援体制が充実。幅広い領域に対応できる高度なスキルと専門知識を身につけることが可能です。

Point 02

チーム医療の一員として

当院の薬剤師は、誰もがチーム医療の担い手。病棟では医師、看護師、管理栄養士、臨床検査技師などの医療スタッフと連携してラウンド（NST、褥瘡、ICTなど）をおこない、手術室では薬品チェック業務を通して麻薬や筋弛緩剤などのハイリスク医薬品の管理をしています。また、PBPM（プロトコルに基づく薬物治療管理）を導入し、代行入力などタスクシフトにも力を入れています。



Point 03

がん治療に精通した薬剤師に

患者さんご家族への抗がん剤治療の説明と治療開始後のフォロー、化学療法室で患者さんに投与する抗がん剤の調製、調剤薬局向け情報提供書の作成。埼玉県北部で初めての「埼玉県がん診療指定病院」（2024年4月認定）であり、がん治療の認定資格を持つ薬剤師が複数名在籍する当院では、こうした業務にも深く携わることができます。

Column

抗がん剤治療を進めるには、糖尿病や心臓病をはじめとする併存疾患についての理解が不可欠です。総合病院である当院で薬剤師のキャリアをスタートするメリットは、まさにそこにあります。病棟で多くの患者さんと向き合ってきたことすべてがあなたの礎になるのです。そこから抗がん剤治療のスペシャリストを目指すあなたをサポートするのは「がん専門薬剤師」「外来がん治療専門薬剤師」の有資格者である私たち。先進的な治療を共に学び、成長していきましょう。

2024年入職 / D.K



質の高い医療を提供できる 最も身近な病院。

2023年入職 / A.K



チーム医療の一員として 成長している実感がある。

5年次の実習で、医療従事者との距離の近さに魅力を感じて病院薬剤師を志望しました。当院に決めたのは、がん治療に力を入れていること、自己研鑽の機会が多いこと、病棟で多くの患者さんを担当できることを病院見学で確認できたからです。幼い頃から最も身近だった病院で質の高い医療を提供し続けたいという想いも強かったです。現在は本館6階病棟の専任薬剤師として、消化器内科、呼吸器内科の入院患者さんの薬剤管理をおこなっています。業務は、入院前に服用されていた薬剤と用法・用量の確認、初めて投薬する薬剤の効能・効果についてのご説明、処方代行入力を中心。「眠れない」「便秘が続いている」など、直接相談を受けるケースも多いので、常に患者さんの状態をイメージして医師に確認することを心がけています。想像以上だったのは、医師、看護師、管理栄養士、MSWをはじめ、医療従事者との関係の良さです。新人薬剤師の意見を真剣に聞いてくれる方ばかりでしたのですぐに溶け込むこと

ができました。なかでも看護師さんには頼られることが多く、大学で習得した薬剤の知識をフル活用して信頼関係を築きました。印象に残っているのは、入職1年目の研修期間終了後に担当した在庫管理業務です。複数の製薬会社の製造・管理体制の不備により、医薬品の入手が困難になったのです。その影響は現在も残っていますが(2025年現在)、最も深刻な状況で在庫の確保に貢献できたことが自信になりました。当面の目標は感染制御認定薬剤師になること。大学時代から最も興味があった分野で地域医療に貢献したいですね。

🕒 Schedule

- 8:30 — 退院患者さんの情報収集・整理
- 10:00 — 退院時の薬の確認、お薬手帳シールの作成、薬剤の用法用量の説明
- 11:00 — 入院患者さんのヒアリング、処方の代行入力
- 12:00 — 昼食
- 13:00 — 調剤室で調剤、補充、監査などの業務を交代で担当
- 15:00 — 病棟に戻りTDM
(医薬品投与後の薬物血中濃度モニタリング) など
- 16:00 — 入院患者さんに対する新たに使用する薬剤の説明など
- 17:00 — 終業

🕒 Off Time

2~3月に開催される地元のハーフマラソンを走るためにジョギングを続けています。おいしい日本酒を求めて評判の飲食店や酒屋を巡ることも多いです。





調剤業務は担当制。
新人薬剤師も安心の環境。

調剤・発注業務を中心に、ラウンド (NST、褥瘡)、手術室業務、新人教育にも携わっています。当院の調剤室の特徴は、調剤、製剤、在庫管理など、業務に担当制を採用していることです。確認を取る相手が明確なので安心感があり、新人薬剤師も学びやすい環境だと思います。新人薬剤師にとって最初の目標は、一人で日直や夜勤業務を担当できるようになること。そのために不可欠な調剤技能、電話応対、患者さんとの窓口対応業務を習得できるよう、個々の理解度に合わせた教育プランをつくっています。

病棟でのラウンドは、火曜日が褥瘡、水曜日がNSTです。ラウンドの魅力は、医師、看護師、管理栄養士によるチーム医療を実践できること。NSTでは点滴メニューや速度、内服薬について提案し、褥瘡では創部の処置を間近で見ながら患者さんに適した薬剤を考えます。また、薬剤の使用方法、保管方法、注意事項などをスタッフに伝えるのも重要な業務です。同じような症例でも治療

法は異なり、患者さんの全身状態も違いますし、多職種の意見も聞けるので、気づきと学びの連続です。

発注業務や在庫管理、手術室業務などを1年目から担当できるのも当院の特徴です。新人教育ではチェックリストを用いて、月に1回面談を実施しています。バックアップ体制が整っていてオンオフの切り替えも容易な職場ですので、心身とも充実した状態でキャリアをスタートできると思います。

🕒 Schedule

- 8:30 — 調剤業務
- 10:00 — 手術室業務の情報収集
- 10:30 — 手術室で使用薬剤等の確認
- 12:00 — 昼食
- 13:00 — 調剤業務
- 14:00 — 褥瘡ラウンドの情報収集
- 15:00 — 褥瘡ラウンド
- 16:00 — 調剤業務
- 17:00 — 終業

🕒 Off Time

近所の公園でバドミントンをしたり、お弁当を持ってピクニックへ出かけたり、平日にできないことをします。家族と一緒に過ごす時間が何よりも大切です。



ラウンドは
気づきと学びの連続。

2012年入職 / M.Y



生きがいを感じられるから、成長できる。

医療現場で患者さんと向き合いたい。チーム医療で地域の医療に貢献したい。
そんな想いで薬剤師を志したあなたに選ばれる職場づくりを目指しています。



教育・研修制度とサポート体制

新人の研修期間は1年間。上半期は調剤、薬剤管理、製剤、問い合わせ対応など、調剤室の全業務をローテーションで経験。下半期は夜勤に入り、また抗がん剤調製や翌春以降の病棟勤務に向けた準備も始めます。指導は個々の理解度に合わせて進めますので、同期の仲間との進捗の違いを気にする必要はありません。科内勉強会や新薬説明会など自己研鑽の機会も多いので、なりたい自分をイメージして知識と経験を積み重ねていきましょう。

働く環境



フレンドリーな職場

薬剤科は職員のコミュニケーションが活発な部署。新人もフレンドリーな関係を構築できます。



育児と仕事の両立

敷地内には薬剤師も利用できる24時間対応の託児所を完備。育休や時短勤務制度も整っているので復帰後も働きやすい環境があります。



休日・休暇

年間休日は122日以上、有給休暇は入職日から付与されるので役所での免許申請手続きも容易です。

Message

生涯のテーマが、きっと見つかる。

薬剤科長 / S.S

入院から退院まで患者さんに寄り添い、他の医療機関と連携して住民の皆さんの健康増進や疾病予防、介護予防に貢献できるのは、地域に根ざした総合病院の薬剤師だからこそです。そして当院には、あらゆる診療科に対応できるジュネラリストから各専門分野のスペシャリストへ成長できる環境が整っています。薬剤師となったあなたが生涯をかけて挑むテーマも、ここならきっと見つかるはずです。

